

研究所だより

第446号
2022年 7月19日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“夏がくれば 思い出す はるかな尾瀬 遠い空

霧のなかに うかびくる やさしい影 野の小径

水芭蕉の花が 咲いている 夢見て咲いている水のほとり



しゃくなげいろ
石楠花色に たそがれる はるかな尾瀬 遠い空 ”



『夏の思い出』 1949年（昭和24年） 日本の歌曲

本格的な夏の到来！ ～新型コロナウイルス感染症・熱中症対策を万全に！～

7月23日（土）は「大暑」（23日から立秋までの期間を大暑と呼ぶ場合もあります）。大暑は書いて字の如く、一年で最も暑くなる時期を指します。夏の土用の丑もこの頃です。いよいよ本格的な夏の到来です。

日本で「暑い時期を乗り切るために、栄養価の高いウナギを食べる」という習慣は万葉集にも詠まれているように古代に端を発するとされていますが、土用の丑の日に食べる習慣となったのは、安永・天明の頃（1772-1788年）よりの風習であると言われています。農林水産省の広報用Webマガジンでは、ウナギには夏バテ予防に必要な栄養素が豊富に含まれていると紹介されているようです。（ウナギを食べる習慣についての由来には諸説有り）また、大暑をはじめとした夏の暑さに打ち勝つためには「う」のつく食べ物を摂るとよいとも言われていますので、栄養価の高い食べ物を食べて体調を整えていきましょう。

- ①ウナギ；夏バテ防止に効果があるビタミンB1、Aを豊富に含む
- ②梅干し；疲労回復に役立つクエン酸が効果を発揮
- ③うどん；夏バテ予防・食欲増進



また、全国的に新型コロナウイルス感染症は増加傾向にあります。本市においても同じような状況が続いていますので、基本的な感染防止対策（マスクの着用・手洗い・三密の回避・換気）並びに熱中症予防対策（水分補給・塩分補給・睡眠の確保・体調管理等）の徹底を心がけてお過ごしください。

☆第72次土佐清水市教育研究集会・一日教研のご案内☆

- 期日：2022年 8月 3日（水）
- 会場：土佐清水市立中央公民館・清水小学校・清水中学校
- 日程：受付 8：45～ 9：00
- 開会行事 9：00～ 9：30
- 講演 9：30～11：45
- 講師 内田 良 教授（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
- 演題 学校のリスクを見える化する
～部活動改革から働き方改革まで～
- 部会研修 13：30～16：45
（清水小・足摺岬小・清水中・給食センター）



（指導と評価 令和4年8月号）から

真正の構成的グループエンカウンターによる学級づくり⑤

〔 教育支援センターから見た集団づくり 〕

田場 千鶴さん（五條市教育委員会）
米田 薫教授（大阪成蹊大学）

1 心のふれあいのある学級風土を

私は、子どもサポートセンターでカウンセラーをしている。ケース会議に参加した際に、当該の子どもへの「個」の支援の提案と、クラス運営の一助としてエンカウンターを紹介している。

クラスには、自由で伸び伸びしているように見えても、サブグループができて小さなトラブルが多く、マイノリティの子どもが居づらさを感じていることがある。こうしたグループは担任のリーダーシップで規律の確立が求められる。逆に、先生の管理が行き届いてルールはよく守られているが、全体の意欲が欠けているクラスもある。こういうクラスはリレーションが重要となる。いずれにしても「本音と本音の分かち合い」が枢要となる。

私はこれまで、人間関係づくりの取組が不足しているためにクラスに適應できない子どもをたくさん見てきた。本音で語れないのは、本音で語る風土がないからだ。コロナ禍で関わりが制限される中、学校は意識して集団づくりに取り組まなければいけない。私はSGEを、クラス集団を民主的なものに成長させる、ある程度確立された効果的な方法と考えている。Q-Uを開発された早稲田大学・河村茂雄教授が言われた言葉を思い出す。「私は、Q-Uを作るために全国の小中学校を回ったんですよ、でね、居心地のいいクラスを作ってる先生方は、全国的にみんな同じようなことをしているんだよね、その一つが構成的グループエンカウンターなんです。居心地のいいクラスからは、いじめも不登校も出ないんですね～」。

結局、「個」への支援も行き着くところ、居心地のいいクラスづくりに集約されると思う。ただのゲームに「気付き」は必要ないが、エンカウンターは集団対象の開発的カウンセリングの一つであるから、シェアリングを大切にすることを心理職の立場から強調した。

2 夏休み前後にお勧めのショートエクササイズ

共同体感覚が味わえるショートエクササイズの「みんなでミラー」を紹介する。

ショートエクササイズは、國分康孝先生によれば「本来（正規）のエンカウンターのようにパーソナリティに揺さぶりをかけはしないが、現実社会に生きる心構えを育てる（人に感謝し春風を持って人に接する）のに有効」とあり、実施するにはエクササイズのねらいを特に明確にすることを強調されている。

私がこれを選んだのは、長い休みの前後に共同体験感覚を味わわせたいと願うからである。共同体感覚とは「人間は皆互いを支え合う仲間である」という感覚を意味する。オーストリアの精神科医アルフレッド・アドラーが創始したアドラー心理学のキーコンセプトで「子どもの中に共同体感覚を作ることこそ、教師や親がしなければいけないこと」とされている。國分康孝先生が病床で「アドラー心理学の共同体感覚はねえ、僕の言うワンネスなんだよ～」と言われたとか。他界される約3ヶ月前の言葉である。

3 「みんなでミラー」目的：感受性の促進

①インストラクション

- ・「互いの動きをうまく真似できたらどんな気持ちになるかを味わいましょう。まず、鏡になったつもりで先生の真似をしてください」ストレッチやスポーツの動き、日常のわかりやすい動作を取り上げデモンストレーションする。

②エクササイズ

- ・二人組を指定し、ジャンケンでどちらかが鏡役になるかを決めさせ役割を確認する。
- ・座ったままで向き合い、合図で30秒間、鏡役が相手の動きを真似する。
- ・次に2つのペアを合わせ4人組を作る。順番を決め、全員立って1人の動きを他の3人が45秒間、真似する。順番に全員に回す。

③シェアリング

- ・「真似してどんな気持ちがありましたか。逆に、真似されてどんな気持ちでしたか？真似するにどんなことを心がけましたか」とグループで今かかっている気持ちや気づいたことについて語り合い、それを全体でシェアする。

④留意点

- ・どんな動きでも他の人を笑ったりけなししたりしないように伝える。
- ・真似する役がついてこれるように「動く役の人あまり動かず、友達がついてこれるように動いてください」と指示する。
- ・時間があれば、2人組→4人組→8人組→16人組と増やしていてもよい。
教員は子どもの援助の専門家である。子どもの成長発達を心から望み、8月は自己研鑽の日々となる。真正のエンカウターの研修会で、お会いできる日を楽しみにしている。

(田場千鶴)

4 夏は内省を深められる研修に参加しよう

「自分のことが分かる程度にしか他者のことは分からない」とカウンセリングの世界では言われる。真正のエンカウターを展開するにはシェアリングする力が必要だが、それを支えるのは自己理解と自己受容である。夏休み中は研修の機会に恵まれているので、ぜひ自分自身をみつめて内省できる研修に参加してほしい。ただ、内省には集中して自分をみつめられる「かたまり」の時間が必要なので、短時間の研修を何回受けても効果は薄い。

三時間の研修を10回受けるより、宿泊を伴う研修への参加をお勧めする。

5 エンカウターの研修は講師を選ぼう

確かな力を有する講師の研修に参加したい。「SGE公認リーダー」の資格を有する講師を選びたい。きちんと学んでいない講師に学んでも“百害あって一利なし”である。以下は“エセ講師”の見分け方である。

- ・自らを「ファシリテーター」と名乗る

國分先生から「我々はファシリテーターではない。集団を成長させる責任があるから、気概を持ったリーダーでなければならない」と教わり、そのお答えに得心したものである。

- ・エクササイズではなく「ゲーム」と呼ぶ

好きなら参加し、嫌いならしない方がいいのがゲーム。エクササイズは人生修行の課題であるからパスする権利を保障するが、極力参加することを促す、そういう厳しさがあるのがエンカウターである。「アクティビティ」「アイスブレイク」等の言葉も用いない。

研鑽を積んだ講師は言葉を吟味している。

- ・シェアリングしない講師

奇をてらった「ゲーム」だけの講師から得られるものは少ない。シェアリングしなければエンカウターではない。感情交流を促し人間的成長を図る中核だからである。

(米田 薫)

◇お知らせ◇

◇平和学習・DVDの紹介！◇

平和学習用DVDの紹介です。ぜひご利用ください。

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| ・「はとよ ひろしまの空を」(21分) | ・「地球の風ぐるま
ヒロシマ・ナガサキに学ぶ」(32分) |
| ・「ヒロシマに一番電車が走った」(32分) | ・「予言」(42分) |
| ・「夏服の少女たち」(34分) | ・「戦争—子どもたちの遺言」(53分) |
| ・「対馬丸—さよなら沖繩—」(75分) | ・「増大する放射能」(22分) |
| ・「消えさらぬ傷のあと 火の海・大阪」(20分) | ・「おかあさんの木」(22分) |
| ・「地雷を踏んだ象『モータラの物語』」(24分) | ・「おこりじぞう」(28分) |
| ・「にんげんをかえせ」(20分) | |
| ・「さとうきび畑」(11分) | |

◇教材・書籍◇

各出版社の教科書(小中)や低学年用のプログラミング教材、特別支援教育、人権教育、防災教育、環境教育などの図書、DVD・ビデオ等も所蔵しています。

夏季休業中の予定

①第2回教研推進委員会

日時：7月26日(火) 16:00~16:45

会場：教育センター 会議室

②第2回あすなろネットワーク

日時：8月22日(月) 15:30~

会場：教育センター 会議室

内容：講話 『不登校理解 ~児童生徒の心理的サポート~』

講師 小松 宏暢さん(高知県スクールカウンセラー)



*教育センターは、夏季休業・閉庁期間中も運営しています。

